

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.88, June 2015

ARSC 事務局：〒164-0003 東京都新宿区矢来町 126

NITTO ビル (株)メッツ研究所内

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード=10023

会長：文 世一 担当：宮本成雄

TEL: (03)5227-7804

FAX: (03)5227-7807

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 新会長就任あいさつ
副会長選挙の結果
運営幹事等役員の選任
第 29 回研究発表大会のご案内
2015 年度坂下賞候補者の推薦（公募）
2014 年度学会決算概要
2015 年度第 1 回運営委員会の概要
事務局だより

1. 新会長就任あいさつ

ARSC 第 15 代会長 文 世一(京都大学)

2015-16 年度の 2 年間、応用地域学会会長を務めることになりました。副会長、運営委員会、そして会員みなさまと協働しつつ、微力ながら学会の発展のため全力を尽くすつもりです。応用地域学会は 1987 年に応用地域科学研究会として設立されましたが、私は 1989 年に入会し、その年の研究発表大会（京都大学）に初めて参加しました。当時は大学院を修了したばかりでしたが、国際的に著名な先生であれ誰であれ、年齢の上下など関係なく、遠慮も容赦もなしで激しく議論する様子を生で見て感激しておりました。そしてそのような議論に参加することを目指して研究に励む決意を新たにすることが思い出されます。学会の英語名称が Applied Regional

Science Conference とあるように、研究発表大会は応用地域学会の最も重要な活動と言えます。当学会には、経済学、工学、地理学など様々な分野の研究者が集まっております。さまざまな学問分野の融合によって、新しい知識が生み出される場を提供することが、学会の役割と考えております。今日の若い人にとっても、私の入会時に感じたと同様の刺激と魅力あふれる研究発表会であり続けるよう努める所存です。幸い、研究発表大会では、質の高い、国際的に通用する論文が多数発表されております。これらの優れた論文が、学会から発行する RURDS および応用地域学研究により多く投稿されることが望まれます。

ARSC の国際的活動であるアジア地域科学セミナーは、歴代の会長のご尽力により、現在の体制で実施するようになって今年第 5 回を迎えます。中国、日本、台湾、韓国の順番で開催してきましたが、今年のハルビンからは二巡目となります。来年は日本で開催する予定です。複雑化する国際政治とかかわりなく、東アジアの地域科学研究者の交流はますます強化されています。近年、学会の財政が赤字体質となっております。最も基本的な対策は、会員数の増加です。そのためには、新会員にとって十分魅力的であるように、学会の活動水準を不断に向上させていく必要があるでしょう。それと同時に、都市、地域の問題を取り扱う様々な分野の研究者を ARSC に結集させる地道な努力が求められます。会員のみなさまのご助力をお願いする次第です。

2. 副会長選挙の結果

選挙管理委員 高塚 創 (香川大学)
横井 渉央(東北大学)

応用地域学会副会長選挙は、平成 27 年 3 月 10 日締め切りで行われました。結果は以下の通り、総投票数 149 票の内、57 票を獲得された**安藤朝夫先生 (東北大学)** が当選されました。平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日までの 2 年間、副会長にご就任いただきます。

投票総数	149 票 (無効票 2 票)
安藤 朝夫 (東北大学)	57 票

(なお、今回の運営委員による候補者の選出の投票で、得票順 3 位が複数名となったため、固辞者を除いた 4 名を候補者としました。学会の選挙内規では、同順位の扱いが明記されておきませんので、改正することで議論を進めることになりました。)

3. 運営幹事等役員の選任

事務局

新しい会長のもと、運営委員会が6月6日に開催され、以下のように2015年度の運営幹事等の役員、委員会委員等が選任、又は任命されました。

(太字下線付が今回の新任、敬称略・順不同)

2015年度 ARSC 役員等

○運営幹事（規程無）

・運営委員会内で選任（運営委員会を機能的に運営するために設置。）

<2014・2015>

総務 塚井 誠人（広島大学）
渉外 河野 達仁（東北大学）
会計 瀬古 美喜（武蔵野大学）

○監査委員（会則第9条3項）

・運営委員会が個人会員の中から委嘱する（2名）。任期の規程無。

<2015・2016>

中島 賢太郎（東北大学）、塚井 誠人（広島大学）

○選挙管理委員（選挙内規第3条）

・会長が指名する（2名）。任期の規程無。

<2015・2016>

伊藤 亮（東北大学）、大西 正光（京都大学）

○大会プログラム委員会（規程無）

・運営委員会で選任・委員長指名（開催大学・委員長の意向により委員の増減あり）

<2015年度（慶應義塾大学）>

委員長 内藤 徹（徳島大学）
委員 松浦 寿幸（慶應義塾大学）、佐藤 泰裕（大阪大学）、福山 敬（鳥取大学）
亀山 嘉大（佐賀大学）、小川 光（名古屋大学）、松島 格也（京都大学）

○坂下賞選考委員会（坂下賞選考規程、2004年度～）

<規程>

[選考委員会]

第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は、5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期]

第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

<2015 年度坂下賞選考委員会委員>

委員長 浜口 伸明 (神戸大学 3年目)

委員 曾 道智 (東北大学 2年目)、多々納 裕一 (京都大学 1年目)

文 世一 (ARSC 会長)、安藤 朝夫 (ARSC 副会長)

○応用地域学会論文賞 (Best Paper Award of ARSC) 選考委員会

<規定>

[選考委員会]

第5条:運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期]

第6条:運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

(※任期に関する申し合わせ事項;2014~16の間は、2013年度選任の3名のうち1名が順次退任し、運営委員会が選任した1名が就任する。)

<2015 年度論文賞選考委員会>

(○数字は、退任の順序)

委員長 奥村 誠 (東北大学) ①

委員 堤 盛人 (筑波大学) ②、高橋 孝明 (東京大学) ③

文 世一 (ARSC 会長)、安藤 朝夫 (ARSC 副会長)

4. 第5回アジア地域科学セミナー

事務局 宮本成雄

第5回アジア地域科学セミナーは、中国地域学会の主催で、2015年7月18日~20日、中国のハルビン工科大学 (Harbin Institute of Technology) で開催されます。参加申し込みは、既に締め切られておりますが、日本 (ARSC) からは、18本の論文発表と21名の参加が予定されています。

アジア地域科学セミナーは、アジア諸国における地域科学の研究発展と交流を促進するために、応用地域学会 (ARSC)、台湾地域学会 (CRSA)、中国地域学会 (RSAC)、韓国地域学会 (KRSA) が共催して行い、第2回より、各国持ち回り開催となっております。(第2回は日本 (ARSC)、第3回は台湾 (CRSA)、第4回は韓国 (KRSA)、第5回は中国 (RSAC) が、開催担当 (主催) となりました。)

第6回アジア地域科学セミナー (2016年) は、日本 (ARSC) が主催し、仙台での開催を予定しております (開催日程は、2016年8~9月で、調整)。

5. 第 29 回研究発表大会のご案内

第 29 回研究発表大会実行委員長 直井道生

2015 年度大会は、慶應義塾大学の主催で、下記要領で開催いたします。意欲的な論文の発表と活発な討論を期待しております。奮っての参加をお願い致したく、ご案内申し上げます。

(1) 大会概要

- ①期 日 2015 年 11 月 28 日 (土)、29 日 (日)
(総会・懇親会は 11 月 28 日(土))
- ②会 場 慶應義塾大学三田キャンパス (〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45)
<<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>>
- ③参加費 正会員・非会員は 2000 円、学生会員は無料

*大会の詳細は、大会ホームページ (7 月上旬より公開予定) をご参照ください。

<<https://sites.google.com/site/arsc2015keio/>>

(2) 発表申込

- ①発表者の条件 **ARSC 会員であること**

※非会員の場合は大会までに入会手続きを行ってください。

- ②発表申込み

下記について、添付の「発表申込用紙」をご使用いただき、お申込みください。

(発表申込用紙は、大会ホームページからもダウンロードできるようにします。)

- a. 発表者氏名・所属
- b. 連名者氏名・所属
- c. 発表者連絡先 住所、電話、ファックス、E-mail アドレス
- d. 発表題目 (和・英のいずれか)
- e. 要旨 (和文 200 字、英文 100 語程度。いずれかを記載)
- f. 発表時の使用言語 (日本語または英語)
- g. 希望討論者 (候補者 2 名まで)

※候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

- h. 発表区分 (「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項(3)を参照)

- ③発表申込方法 **申込用紙はできるだけ E-mail に添付して、下記第 29 回研究発表大会プログラム委員会まで、お送り下さい。**

*メールの件名は「**arsc 申込(名前)**」として下さい。

*発表申込用紙のファイル名は「**application(名前)**」として下さい。

(例 application(鈴木一郎)など)

*なお、郵送またはfaxでの申し込みも可能です。

④発表申込先 (第29回研究発表大会プログラム委員会)

E-mail ; arsc.application.2015@gmail.com

Fax ; 088 (656) 7189

郵送の場合 ; 〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町1-1

徳島大学総合科学部 内藤 徹 宛

⑤発表申込期限 **2015年9月15日(火) 必着**

(3) セッション構成と企画の募集

- ・下記セッションを開催いたします。「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については、広く会員各位からの企画提案を募集しています。
- ・**2015年9月15日(火)までに企画提案をお送りください。**(送り先は上記申込先と同じです。書式は問いません。)

一般セッション	<ul style="list-style-type: none">・幅広い論題でのセッションです。下記のキーワード(事例)に限定することなく、ARSCにとって関連のある論題を積極的にご報告ください。《地域問題》成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画《都市問題》都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政《交通》都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信《環境》影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災《国際問題》開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税
Early Birdセッション	<ul style="list-style-type: none">・博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が、原則として単著で申し込んだ発表から構成されます。・ARSCの将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。
特定セッション	<ul style="list-style-type: none">・特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます(これまでに「交通混雑緩和と料金政策」、「知識の創造・伝搬と集積の経済」、「人口経済学的アプローチ」などの特定セッションが組まれました)。・このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願いいたします。
シンクタンク・セッション	<ul style="list-style-type: none">・ARSCは、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。・このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起を基に構成されます。・賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの企画提案をお待ちしております。

(4) 今後の予定

①大会プログラム

- ・10月20日頃までに確定し、大会ホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

②発表原稿

- ・最終の発表原稿を11月14日(土)までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

*E-mailに添付して送られる場合は、必ずPDF形式にしてください。

*大会事務局宛てのメールの件名は「**arsc論文(名前)**」として下さい。

*論文のファイル名は半角アルファベットで「**paper(name)**」として下さい。

(例 paper(michio naoi)など)

*座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

- ・大会事務局に論文をPDFで送付していただければ、大会HPに報告論文をアップロードします。(アップロードの期間は本年中とします。)アップロードを希望しない場合は、メールにその旨を明記してください。

- ・発表会場には、論文またはそれに準ずるもののコピーを30部程度用意してください。

- ・発表会場にはWindowsのパソコンとOffice Professional 2013を準備する予定です。またPDFも利用可能です。

(5) 2015年大会実行組織

(敬称略)

大会実行委員会	委員長 直井 道生 (慶應義塾大学) 委員 河端 瑞貴 (慶應義塾大学) 委員 松浦 寿幸 (慶應義塾大学) 委員 隅田 和人 (東洋大学)
プログラム委員会	委員長 内藤 徹 (徳島大学) 委員 松浦 寿幸 (慶應義塾大学)、佐藤 泰裕 (大阪大学) 委員 亀山 嘉大 (佐賀大学)、小川 光 (名古屋大学) 委員 松島 格也 (京都大学)、福山 敬 (鳥取大学)
大会事務局・ お問い合わせ	〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学経済学部 直井研究室 電話/Fax 03-5418-6581 E-mail ; arsc2015keio@gmail.com

6. 2015 年度坂下賞候補者の推薦について（候補者を公募します）

坂下賞選考委員会委員長 浜口伸明（神戸大学）

応用地域学会では、日本における地域科学の研究を発展させ、当学会を地域科学研究の世界的拠点にする視点に立ち、若い研究者を奨励することを目的として、毎年1名の方に『坂下賞』を授与しております。

対象者は、応用地域学会の会員かつ2015年12月31日に満40歳以下の方で、地域科学の理論的研究、実証的研究及び政策的研究のいずれか（あるいは複数の領域）で大きな貢献をなし、現在もなお継続的に研究活動を行っていることが条件となります。

2011年度から一般会員からの推薦も含めて選考することとなりましたので、奮ってご推薦下さい。

<募集要領>

推薦資格：応用地域学会員であること

推薦者数：原則として被推薦者（候補者）1名につき、推薦者1名（自薦も可）

応募書類：推薦書（A4一枚：推薦書様式参照）および業績リスト（様式は任意）

締切：2015年10月1日（木）17時

（必着：メールの場合は受け取りを確認すること）

宛先：下記、坂下賞選考委員長宛、PDFあるいはWORDのファイルをメール添付で送付してください。（あるいは郵送のこと。）

E-mail: hamaguchi@rieb.kobe-u.ac.jp

郵送先；〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

神戸大学経済経営研究所 浜口研究室

なお、推薦された候補者は、坂下賞選考委員会で、委員会推薦の候補者と併せて審議され、受賞者が決定されます。受賞者は、応用地域学会総会（2015年11月28日、於慶應義塾大学）で、発表・表彰いたします。

2015 年度坂下賞選考委員会

委員長 浜口伸明（神戸大学）

委員 曾 道智（東北大学）

多々納裕一（京都大学）

文 世一（ARSC 会長）

安藤朝夫（ARSC 副会長）

7. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集

「応用地域学研究」編集委員長：大澤 義明（筑波大学）

現在、「応用地域学研究」編集委員会では論文投稿を随時受け付けています。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。雑誌は年2回の刊行を心がけており、雑誌刊行の予定に合わせて、1月20日と7月20日の締め切り日を設けております(<http://www.arisc.org/>を参照ください)。奮ってのご投稿をお待ちしております。特に、若い研究者によるご投稿、地域課題に関する問題解決型論文、震災復興など適時性に優れた論文のご投稿をお待ちしております。

1. 論文投稿希望の方は、論文はできるだけ word 形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。**宛先は、編集委員長です (e-mail: osawa@sk.tsukuba.ac.jp)**。LaTeX で作成された原稿で pdf ファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿は word でお願いすることがあります。

2. 受付の確認を電子メールで送付いたしますので、投稿後一ヶ月を過ぎても連絡が無い場合は、下記までお問い合わせ下さい。

3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。また、応用地域学研究発行1ヶ月後に掲載論文を学会HPにて公開します。

応用地域学研究編集委員長
大澤 義明
筑波大学システム情報系社会工学域
TEL& FAX 029(853)5224
E-Mail osawa@sk.tsukuba.ac.jp

8. 2014 年度決算(概要)について

事務局 宮本成雄

2014 年度(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)学会決算(概要)では、個人会費の増収はあったものの、賛助会員の退会、研究発表大会への費用負担、その他一時的な支出などから、繰越金を約 60 万円減少させ、繰越金は 450 万円弱となりました。今後、賛助会員の確保や会員増に努めるとともに、経費節減などを進めていきます。

本決算結果は、監査委員による監査後、本年度大会での総会にて会員の皆様への報告が

なされ、審議される予定です。なお監査委員は、中島賢太郎（東北大学）及び塚井誠人（広島大学）の両先生にお願いすることになりました（前掲）。（詳細の報告は、監査終了後、総会承認後のニュースレターに掲載します。）

2015 年度決算（案）概要

（単位：万円）

収 入		支 出	
繰越金	508	RURDS 購読	344
会費（国内、国際、賛助）	540	「応用地域学研究」刊行	55
年次大会参加費等（含懇親会費）	85	年次大会開催費（含懇親会費、坂下賞・論文賞費）	155
その他（雑誌販売等）	1	国際会費	21
		事務費、その他	111
収入合計	1,134	支出合計	686
（繰越金を除く収入計）	（626）	繰越金	448

9. 2015 年度第 1 回運営委員会報告（議事要旨）

事務局担当

日 時；平成 27 年 6 月 6 日（土）13：00 ～ 15：00

場 所；大手町ビル 6F（東京都千代田区大手町）

三菱地所 673 会議室

出 席；15 名、委任状 7 名

<議事要旨>

1. 副会長選挙結果報告（前掲）

2. 運営幹事等役員の選任（前掲）

* 2015 年度に新規選任となる、監査委員、選挙管理委員の各委員、並びに研究発表大会プログラム委員会、坂下賞選考委員会、応用地域学会論文賞選考委員会の各委員長・委員を選任しました。

3. 選挙内規（副会長選挙）の改正について

* 現内規では、候補者 3 名を運営委員の選挙によって得票順で選出するとあるが、同順位が複数名となり、3 名に絞り切れない場合の対応の記載がない。

* 提出された改正案は、3 人目同順位者すべての 4 名以上の候補者も可としたが、年齢順に 3 名に絞るといふ案もあるとの意見もあり、さらに検討することとなった。

* 次期副会長選挙は、2 年後なので、今年 11 月の総会または、来年度の総会で改正できるよう、検討をすすめる。

4. 2014 年度会計概要と課題（前掲）
5. 2015 年度坂下賞の選考について
 - *例年どおりに、受賞候補者の自薦他薦を含めた推薦を公募する（6月ニューズレターで公募を開始）。
 - *例年、推薦が少ない。何らかの対応が必要。
 - *授賞対象は、12月31日で40歳以下としているが、年齢が分かりにくいので、学年齢を基準とし、4月1日で40歳以下とする案などについて議論がありました。
6. 2015 年度論文賞の選考について
 - *論文賞の対象は、RURDS 並びに応用地域学研究の掲載論文であるので、選考に当たっては、それぞれの編集委員長からの推薦を制度化するよう規約改正も含めて選考委員会で検討することになりました。
 - （なお、その後の選考委員会での議論で、“各編集委員長からは、必要に応じ、適宜情報提供を受ける”、という運用で対応することになりました。）
7. 2015 年度研究発表大会（慶應義塾大学）の開催について（前掲）
 - *大会実行委員長の直井道生先生（慶應義塾大学）から、開催概要と準備状況などの報告がありました。
8. 2015 年度 第5回アジア地域科学セミナーの開催について（前掲）
9. ジャーナルの編集状況及び今後の方針について
 - ①応用地域学研究
 - *No. 19 は、坂下賞受賞論文を含め、刊行に向けた準備（最終校正）が進められている。坂下賞受賞論文は、以降の号にも継続的に掲載していく。
 - *編集委員の交代
退任；平澤亨輔（札幌学院大学）、衣笠達夫（追手門学院大学）、安藤朝夫（東北大学）
新任；河野達仁（東北大学）、小池淳司（神戸大学）、城所幸弘（政策研究大学院大学）
 - ②RURDS
 - *27-2 の刊行は、6月中の予定。
 - *RURDS のダウンロード件数は、一時減少した年もあったが、順調に増加している。
 - *Wiley 社から、RURDS 掲載論文に“Wiley 賞”が出されている。受賞論文の選考は、RURDS の編集委員会が行っている。
 - *Editors の交代
退任；中村良平（岡山大）
新任；鄭小平（立命館大）、宇野公子（東京外国語大）
（現 Editors の黒田達朗（名古屋大学）先生は、1年留任後退任、Philip McCann 氏は残留）

以上

10. 事務局だより

事務局担当

□ARSC 会員現勢

2015 年 5 月 31 日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 480 名(内、一般会員 421 名、学生会員 53 名、海外会員 6 名)

賛助会員 5 団体(総口数 7 口)。

□会員の皆様の登録情報は、メール連絡やジャーナル等の送付に重要な情報となっています。変更があった場合は、会員ページ(<https://service.kktcs.co.jp/smms2/loginmember/arsc>)にログインし、速やかに登録情報の変更をお願いいたします。

□地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。新規会員の入会申込は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/>)の「入会手続き」より行ってください。入会に関するお問い合わせは、ARSC 事務局にメール (clerk@arsc.org) にて、お願いいたします。

□事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思っております。